

「サイバーセキュリティ戦略」の実行に向けて

2025年12月8日(月)

三菱電機株式会社 漆間啓

昨今の国際情勢の緊迫化とサイバー事案の甚大な影響を踏まえ、策定された戦略を速やかに政策へ具体化し、官民一体での対策実装を進めることが急務である。時間的猶予はない。

戦略実行の要点は以下の3点である。

1. 多層防御の強化

IT 防御のみならず、第一に OT 防御を高度化する、第二に IT と OT でこなすべき機能を再構築し OT で完結する領域を確立する、第三に IT の受発注機能の途絶が OT 操業に連鎖するリスクが顕在化しており、IT 障害時でも工場が自律できる「OT 自律操業防御」を実現する、この3点が極めて重要。こうした OT セキュリティ高度化とその実装は日本企業がリードできる分野であり、官民の強力な取組みを実現すべき。

2. 幅広い産業分野の OT レイヤーを担う企業への実装支援の充実

特にサプライチェーンを支える中小企業に光を当て、迅速で効果的な支援を。

3. クリアランス制度の早期活用

高度な攻撃を前提としたサイバーセキュリティ対策を官民で早急に練り上げるべき。

戦略策定はスタートであり、危機管理投資の具体化を官民で練り上げていくことが社会実装を加速する。最大限の貢献は惜しまないので、政府の行動に期待したい。

以上